

申請日 年 月 日

世田谷区長 あて

世田谷区介護福祉士実務者研修受講料助成金交付申請書兼請求書

世田谷区介護福祉士実務者研修受講料助成金の交付を受けたいので、必要書類を添えて次のとおり申請します。助成決定後は、決定金額を下記の口座にお振込みください。

また、この助成を受けるにあたり、国、東京都、公益団体等で実施されている他の類似の助成を受けていないことをここに申し添えます。

申請者記入欄	申請者	住所	〒				
		氏名				日中に連絡できる電話番号	-
	内容	指定養成研修事業者名				修了年月日	年 月 日
		受講料(助成対象経費)	円			勤務先からの助成額	円
	振込口座	金融機関名	銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫・農協				
		支店名					
		預金種別	1. 普通		2. 当座		
		口座番号					
		口座名義(カナで記入)					

事業所記入欄	就労状況等	申請者先	名称			電話番号	-
			所在地	世田谷区			-
		雇用形態(該当に○印)	常勤・非常勤・登録ヘルパー・ 臨時(パート)・その他()		登録ヘルパーのみ記入 ↓	登録ヘルパーとしての従事時間が、研修修了日以降180時間を超えた日を記入 年 月 日	
	勤務先証明書欄	申請者は、 年 月 日付で当事業所に採用(登録)し、研修修了後6ヶ月を経過した現在も当事業所の介護職員として勤務(登録)していることを証明する。 年 月 日 所在地 名称 代表者 職・氏名					㊟ (代表者印または社印)

世田谷区処理欄	提出書類確認	備考	受付年月日	助成対象経費
	申請書(内容確認) []			
	修了証明書(写) []			円
	領収書原本 []			助成決定金額
				円

記入時の注意事項

令和4年4月1日改正

第1号様式（第4条関係）

申請者記入欄と事業所記入欄を記入した後、日付を記入する。日付は、和暦で記入。

申請日 年 月 日

世田谷区長 あて

世田谷区介護福祉士実務者研修受講料助成金交付申請書兼請求書

世田谷区介護福祉士実務者研修受講料助成金の交付を受けたいので、必要書類を添えて次のとおり申請します。助成決定後は、決定金額を下記の口座にお振込みください。
また、この助成を受けるにあたり、国、東京都、公益団体等で実施されている他の類似の助成を受けていないことをここに申し添えます。

訂正する場合は、二重線で訂正。

申請者記入欄	申請者	住所	世田谷区 世田谷 $\Delta-\Delta-\Delta$			
		氏名	日中に連絡で			
	内容	指定養成研修事業者名				月 日
		受講料(助成対象経費)	80,000	円	勤務先からの助成額	0 円
	振込口座	金融機関名	〇〇〇		銀行・信田会庫・信田組合 豊坂	
		支店名	〇〇〇		申請時に、勤務先から同様の助成を既に受けている方は、その金額を記入	
預金種別		1. 普通	2.	その他の方は、「0円」と記入		
口座番号		〇	〇	〇	〇	〇
口座名義(カナで記入)		ゆうちょ銀行の場合は振込用の店名(漢数字)を記入				

領収書の金額を記入。訂正は出来ませんので、別の申請書兼請求書で作成し直す必要があります。

申請時に、勤務先から同様の助成を既に受けている方は、その金額を記入

ゆうちょ銀行の場合は振込用の店名(漢数字)を記入

事業所記入欄	就労状況等	名称	特別養護老人ホーム 〇〇〇〇	電話番号	-
		所在地	世田谷区	雇用形態が、登録ヘルパーの場合のみ記入	
	雇用形態(該当に○印)	常勤・非常勤・登録ヘルパー・ 臨時(パート)・その他()	登録ヘルパーのみ記入	登録ヘルパーとしての従事時間が、研修修了日以降180時間を超えた日を記入	年 月 日
(就労証明書)	申請者は、	年 月 日	付で当事業所に採用(登録)し、研修修了後6ヶ月を経過した現在も当事業所の介護職員として勤務(登録)していることを証明する。	証明日は、研修修了日から6ヶ月以上経過した日以降の日付	
	所在地	令和〇年〇月〇日			
	名称				
	代表者 職・氏名	Ⓜ (代表者印または社印)			

勤務先の名称を記入

雇用形態が、登録ヘルパーの場合のみ記入

証明日は、研修修了日から6ヶ月以上経過した日以降の日付

世田谷区処理欄	提出書類	①運営法人の代表者名(理事長、代表取締役社長など)または、 ②勤務先の所属長名(施設長、事業所長など)	私印は不可
	申請書(内容確認)		
	修了証明書(写)		円
	領収書原本	{ }	助成決定金額
			円